

ローカルSDGs/地域循環共生圏セミナー@中部
SDGs17ゴールの紐づけの先へあなた・地域・社会の変容に向けて

SDGsの我がごと化とSDGsの指標について考えてみる ～活動見える化プログラムとSDGs指標物語～

2022年12月15日



環境省EPO中部・中部地方ESD活動支援センター

中部大学中部高等学術研究所

原 理史(はら まさし)

自己紹介

原 理史(はら まさし)

博士(環境マネジメント) 技術士(環境部門・環境保全計画)

愛知県地球温暖化防止活動推進員第79号



所属 中部大学中部高等学術研究所 国際ESD・SDGsセンター 研究員
環境省EPO中部(中部地方環境パートナーシップオフィス)

<略歴>

1998年4月～

環境アセスの民間会社より(社)環境創造研究センターへ転籍

2003年11月～

愛知県地球温暖化防止活動推進センター業務を兼務

2013年4月～現職

デジタルアース・GIS・ESDと連携した環境コミュニケーション研究

2018年4月～兼務

EPO(環境パートナーシップオフィス)中部

中部地方ESD活動支援センター担当責任者

一般社団法人環境創造研究センター 企画委員

日進市地球温暖化対策地域協議会会長

名古屋産業大学大学院非常勤講師(2019年4月～)

環境省EPO中部・中部地方ESD活動支援センター

ESD推進ネットワーク概念図

持続可能な社会を目指して

持続可能な開発目標(SDGs)



学校、地域、職場などで
ESDに取り組んでいる多様な実践主体
(ESD活動の現場)

ESDに取り組もうとしている
多様な主体(潜在的な活動主体)

ニーズ・成果共有

ESDを広めるため、深めるための働きかけ・支援

多数・多様・重層的な
地域ESD活動推進拠点
(地域ESD拠点)

ニーズ・成果共有

連携・支援

ESD活動支援センター
地方センター(全国8か所)
+
全国センター

協力団体

ESD推進に取り組む組織・団体と
協力・連携します。

中部環境パートナーシップオフィス
(EPO中部)

TEL: 052-218-8605 FAX: 052-218-8606

Email: office@epo-chubu.jp

Web: <http://www.epo-chubu.jp/>



中部地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

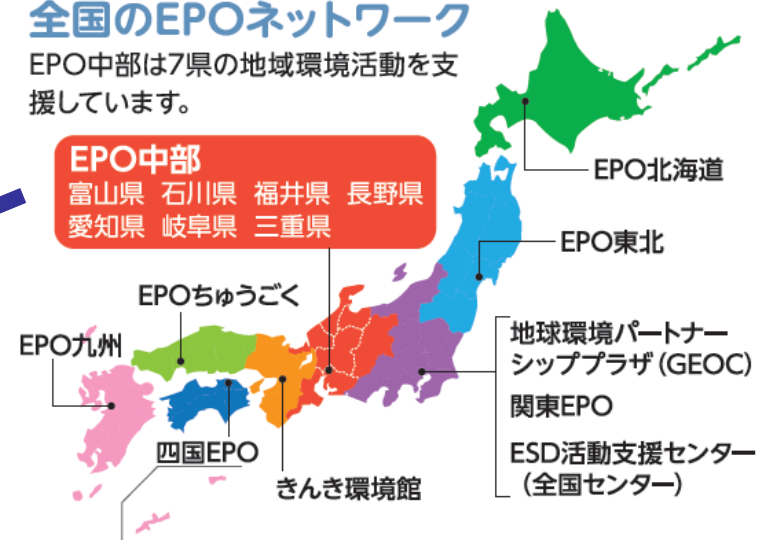
TEL: 052-218-9073 FAX: 052-218-8606

Email: office@chubuesdcenter.jp

Web: <http://chubu.esdcenter.jp/>

全国のEPOネットワーク

EPO中部は7県の地域環境活動を支援しています。



EPO中部
富山県 石川県 福井県 長野県
愛知県 岐阜県 三重県

EPO北海道

EPO東北

EPO九州

EPOちゅうごく

四国EPO

きんき環境館

地球環境パートナー
シッププラザ(GEOC)

関東EPO

ESD活動支援センター
(全国センター)

我がこと化のために、可視化から

我がこと化のためには？

わが - こと【我が事】デジタル大辞泉「我が事」の解説

自分に関係のあること。自分のこと。「友の成功を我が事のように喜ぶ」

<https://kotobank.jp/word/%E6%88%91%E3%81%8C%E4%BA%8B-415058>

SDGsの「自分ごと化」を目指せ ～政府のSDGs実施指針に対するコメント～

2016年10月25日 橋爪麻紀子 <https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=30055>

仕事もSDGsも「自分ごと化」が大事な理由

2021.12.23 瀬川 明彦

私は「自分ごと化」するために必要なことは、**自ら知ること、理解すること、そして考えること**だと思います。そして考えるために必要なキーワードがずばり、好奇心と問題意識だと考えます。

<https://lookat-sdgs.com/column/1064/>



SDGsが自分の仕事にどのように関係しているかを、どのように「知り、理解し、考える」か？

⇒見える化(可視化)が役に立ちそう

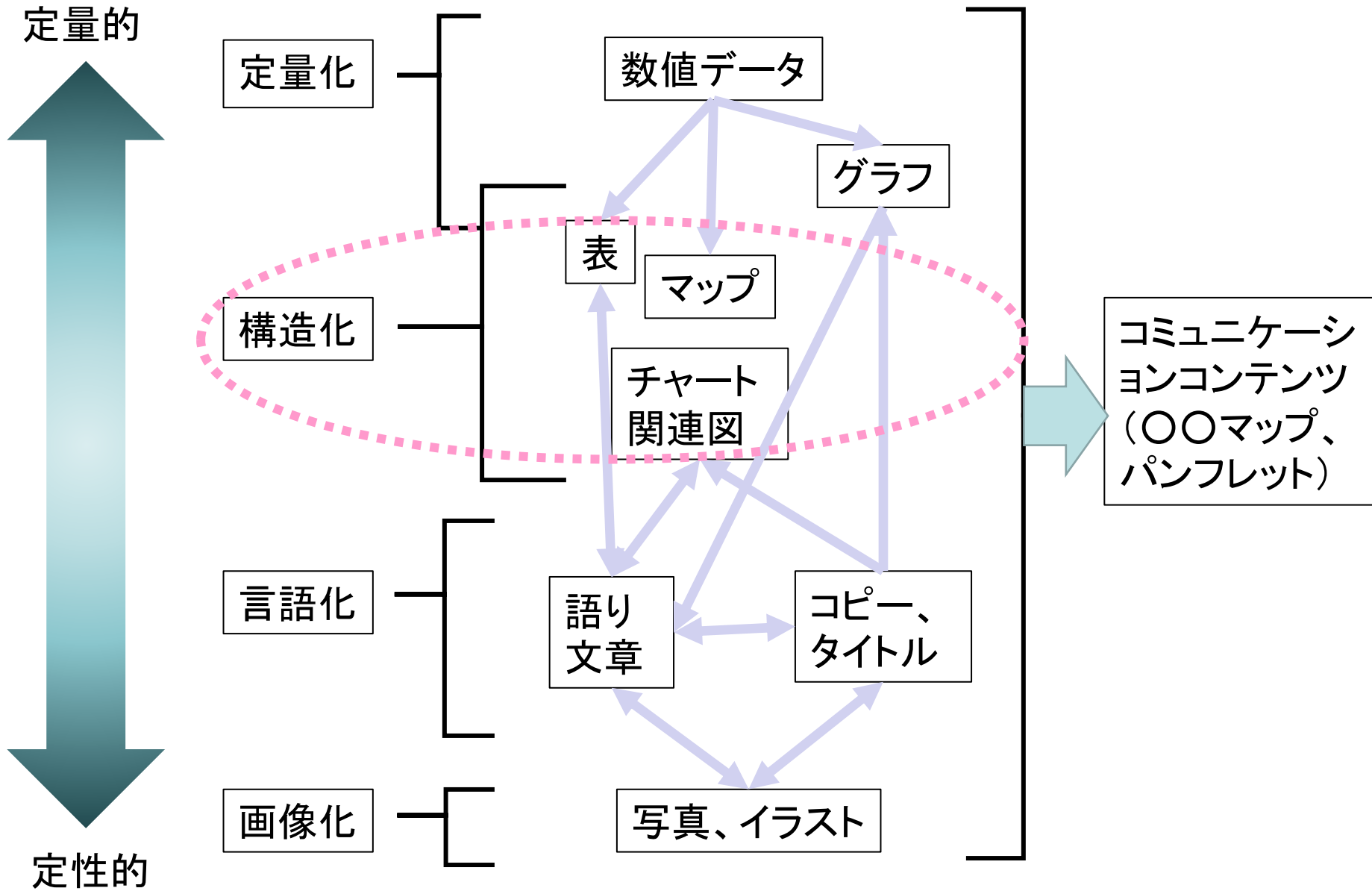
見える化(可視化)とは、定義と意義

- 可視化は、見えないものを見るようにする手法であると定義されている。
- 多くの定義では、データは、何かを符号化したもので、また、情報は、データであって、人間が認識したものを指す。人間の認識には、脳へのデータ入力が必要であり、脳とのデータチャンネルが最も大きな視覚を利用して、データの情報化を実現するのがデータ可視化である。
- 1972年発行の『産業教育機器システム便覧』によると、五感による知覚の割合は、視覚が83%、聴覚が11%、臭覚3.5%、触覚1.5%、味覚が1.0%であるとされている。したがって、データを伝達するには、画像化というのは大変効率のよい手段と言える。

科学的知見の創出に資する可視化に向けて - 日本学術会議(2017)

見える化(可視化)は有効な手段！

地域活動の「見える化(可視化)」の方法論(仮)



活動見える化プログラム

活動見える化プログラムとは・問題意識と目的

地域循環共生圏やSDGsを念頭に置いた地域取組は、実践している協働取組がどのように貢献しているかを認識することが重要

活動見える化プログラム

多角的な地域の活動における地域循環共生圏やSDGsへの貢献を可視化するための分析手法

目的

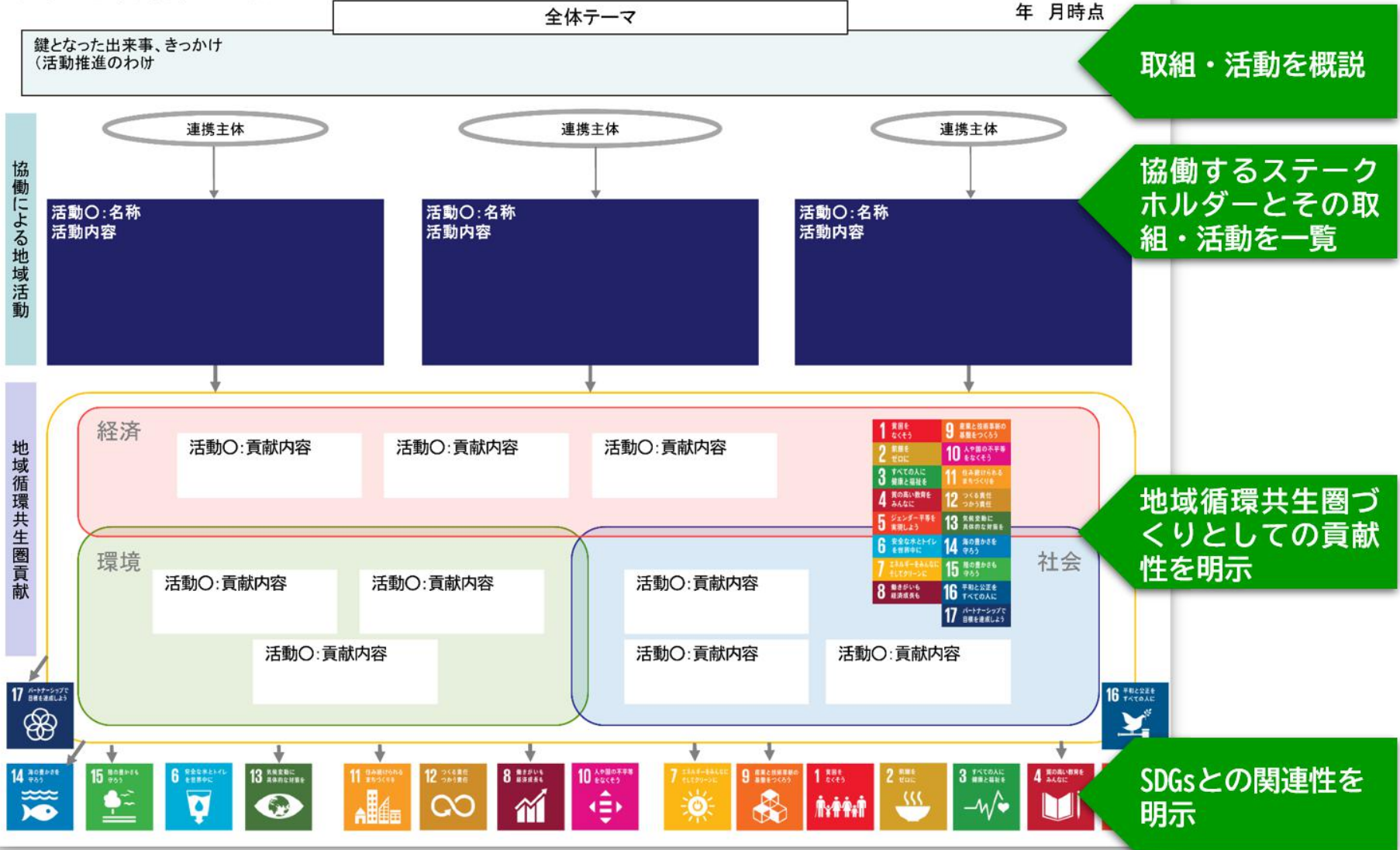
対象となる活動がどのように連携して行われているか、地域循環共生圏やSDGsにどのように貢献しているか、など「可視化」することで活動当事者は内容を認識する。

- ・ 様々な活動に対して誰が協働しているのか
- ・ その活動が環境、経済、社会にどう貢献しているのか
- ・ その活動がどのSDGsに貢献するのか

複数の活動をまとめて**定型様式**で表示

活動見える化プログラムとは

活動の意義(評価)分析



見える化プログラム分析の事例

里山整備副産物を利用した 海洋資源保全に関する コンソーシアムの構築に向けて

分析220310

合同会社ローカルSDクリエーション

活動の概要

近年課題となっている里山や里海の荒廃を防ぐため、山間部の里山整備により搬出された木材を中心とした副産物を漁礁として活用することで、里山と里海をつなげた広域にわたる流域保全の構築を行う事を目的とし、里山と里海の活動を一連の自然環境体験プログラム商品として収益化することで観光産業の活性化を目指す。

里山整備副産物を利用した 海洋資源保全に関するコンソーシアムの構築に向けて 合同会社ローカルSDクリエーション

活動概要

解決したい地域の課題

- 地域資源の利活用を目指し環境保全や体験交流活動を行っているが・・・
- 活動メンバーの高齢化や限定化
- 団体単位では資源規模が小さい
- 活動資金が持続的でない
- 人口減や気候変動による里地里山・里海生態系の悪化

地域のありたい未来

- 活動団体が連携し互いに補完しながら実施する環境保全や体験交流活動を活性化することで多くの人が訪れる地域
- 里地里山と里海が流域でつながれた広域的な自然再生活動の実施
- 自然保全や交流体験活動の収益化による活動団体の自立的資金調達

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）
モデルプログラムの企画と実施

活動1: 里山の保全活動
竹林整備体験、竹で地元のお米を炊いて試食

活動2: 里海の保全活動
竹林整備で出た竹で漁礁の作成、作成した漁礁の設置

活動3: 竹漁礁効果の検証や観察
効果的な漁礁の開発・制作、魚礁の効果の検証、スノーケリングによる漁礁の観察会の開催



想定している資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

【体制】

- ダイビングショップ・漁協&海士協会
- 自然保護団体・大学等研究機関
- 行政(国・県・市町村)

【資金】

- 自己収益化(観光客・体験交流参加者)
- プラットフォーム事業
- クラウドファンディング

【資源】

- 整備の必要な竹林(里山)
- 地域のお米
- 越前海岸の里海

活動内容



活動№	活動1	活動2	活動3
名称	里山の保全活動	里海の保全活動	竹漁礁効果の検証や観察
対象課題	モウソウチク林の拡大によるで里山の荒廃	里海の水産資源の生息場の減少	竹の漁礁としての効果の検証 体験プログラムの開発
活動内容	竹林整備体験、竹で地元のお米を炊いて試食	竹林整備で出た竹で漁礁の作成、作成した漁礁の設置	効果的な漁礁の開発・制作、魚礁の効果の検証、スノーケリングによる漁礁の観察会の開催
予想活動成果	荒廃した竹林の環境向上、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識、収益プログラムとしての運用	海洋生物の生息場や産卵床の創出、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識	里山資源のワイズユース、水産資源の増加、流域連携保全の構築、収益事業としての運用、観光産業の活性化

協働ステークホルダー

活動1

里山の保全活動

活動2

里海の保全活動

活動3

竹漁礁効果の検証や観察

環境省、福井県自然環境課、福井県里山里海湖研究所、福井県自然保護センター		
越前市農政課	越前町(環境、水産、観光)	
	地元漁協&海士協会、アクアマリン福井(ダイビングショップ)	
水辺と生き物を守る農家と市民の会 越前市エコビレッジ交流センター		地元旅館

活動1 里山の保全活動

対象課題	モウソウチク林の拡大による里山の荒廃
活動内容	竹林整備体験、竹で地元のお米を炊いて試食
活動成果(予想)	荒廃した竹林の環境向上、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識、収益プログラムとしての運用
連携先	環境省、福井県自然環境課、福井県里山里海湖研究所、福井県自然保護センター、越前市農政課、水辺と生き物を守る農家と市民の会、越前市エコレレッジ交流センター
現状の評価と課題	体験プログラムとしての定期的開催、指導者の養成、収益性の検討(価格)、広報や参加者募集



【環境への貢献】 【社会への貢献】 【経済への貢献】

荒廃した里山の保全 里山資源利用の再認識	環境教育の普及啓発 地元農産物(米)などの地産地消のPR	活動団体の自立的資金調達 活動団体の活動持続性の確保 グリーンツーリズムの活性化
-------------------------	---------------------------------	--

地域循環共生圏への貢献 (どのような形で貢献しているか具体的に記入)	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など) 荒廃した里山の保全 里山資源利用の再認識	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など) 環境教育の普及啓発 地元農産物(米)などの地産地消のPR	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など) 活動団体の自立的資金調達 活動団体の活動持続性の確保 グリーンツーリズムの活性化
SDGsへの貢献 (該当すれば●、もしくは貢献とその内容を直接記入)	↓	↓	↓
1 貧困をなくそう			
2 飢餓をゼロに			
3 すべての人に健康と福祉を			
4 質の高い教育をみんなに		●	
5 ジェンダー平等を實現しよう			
6 安全な水とトイレを世界中に	●		
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
8 働きがいも経済成長も			●
9 産業と技術革新の基盤をつくろう			
10 人や国の不平等をなくそう			
11 住み続けられるまちづくりを			●
12 つくる責任つかう責任		●	
13 気候変動に具体的な対策を		●	
14 海の豊かさを守ろう			
15 陸の豊かさも守ろう	●		
16 平和と公正をすべての人に			
17 パートナリーシップで目標を達成しよう			

活動2 里海の保全活動

対象課題	里海の水産資源の生息場の減少
活動内容	竹林整備で出た竹で漁礁の作成、作成した漁礁の設置
活動成果(予想)	海洋生物の生息場や産卵床の創出、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識
連携先	環境省、福井県自然環境課、福井県里山里海湖研究所、福井県海浜自然センター、越前町(環境、水産、観光)、地元漁協&海士協会、アクアマリン福井(ダイビングショップ)
現状の評価と課題	体験プログラムとしての定期的開催、指導者の養成、広報や参加者募集、漁礁設置の経費や人員



【環境への貢献】 【社会への貢献】 【経済への貢献】

竹林整備で出た竹による海洋生物の生息場や産卵場の創出による海洋生態系の保全	地元漁協やダイビングショップとの連携構築 里山と里海保全のつながりの創出	
---------------------------------------	---	--

地域循環共生圏への貢献 (どのような形で貢献しているか具体的に記入)	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
SDGsへの貢献 (該当すれば●、もしくは貢献とその内容を直接記入)	竹林整備で出た竹による海洋生物の生息場や産卵場の創出による海洋生態系の保全	地元漁協やダイビングショップとの連携構築 里山と里海保全のつながりの創出	
1 貧困をなくそう			
2 飢餓をゼロに			
3 すべての人に健康と福祉を			
4 質の高い教育をみんなに			
5 ジェンダー平等を実現しよう			
6 安全な水とトイレを世界中に			
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
8 働きがいも経済成長も			
9 産業と技術革新の基盤をつくろう			
10 人や国の不平等をなくそう			
11 住み続けられるまちづくりを			
12 つくる責任つかう責任	●		
13 気候変動に具体的な対策を			
14 海の豊かさを守ろう	●		
15 陸の豊かさを守ろう			
16 平和と公正をすべての人に			
17 パートナーシップで目標を達成しよう		●	

活動3 竹漁礁効果の検証 や観察

対象課題	体験プログラムの開発
活動内容	効果的な漁礁の開発・制作、魚礁の効果の検証、スノーケリングによる漁礁の観察会の開催
活動成果(予想)	里山資源のワイズユース、水産資源の増加、流域連携保全の構築、収益事業としての運用、観光産業の活性化
連携先	環境省、福井県自然環境課、福井県里山里海湖研究所、福井県海浜自然センター、越前町(環境、水産、観光)、地元漁協&海士協会、アクアマリン福井(ダイビングショップ)、地元旅館
現状の評価と課題	体験プログラムとしての定期的開催、指導者の養成、保全効果の高い効果的な漁礁の開発



地域循環共生圏への貢献 (どのような形で貢献しているか具体的に記入)	【環境への貢献】 (環境負荷の減少、資源循環への貢献、自然環境保全、脱炭素貢献、など)	【社会への貢献】 (人のつながり、地域教育、文化の向上、人口流出の抑制、QOL増大、など)	【経済への貢献】 (新規産業の育成、資金流出の防止、地域内経済循環、地域内雇用創出など)
	里山の副産物を資源として里海保全に利用することによる資源循環	里海の自然環境教育の普及・啓発 流域連携保全の構築	収益事業のプログラム運営による 地元観光業への経済効果 グリーンツーリズムの活性化

【環境への貢献】 【社会への貢献】 【経済への貢献】

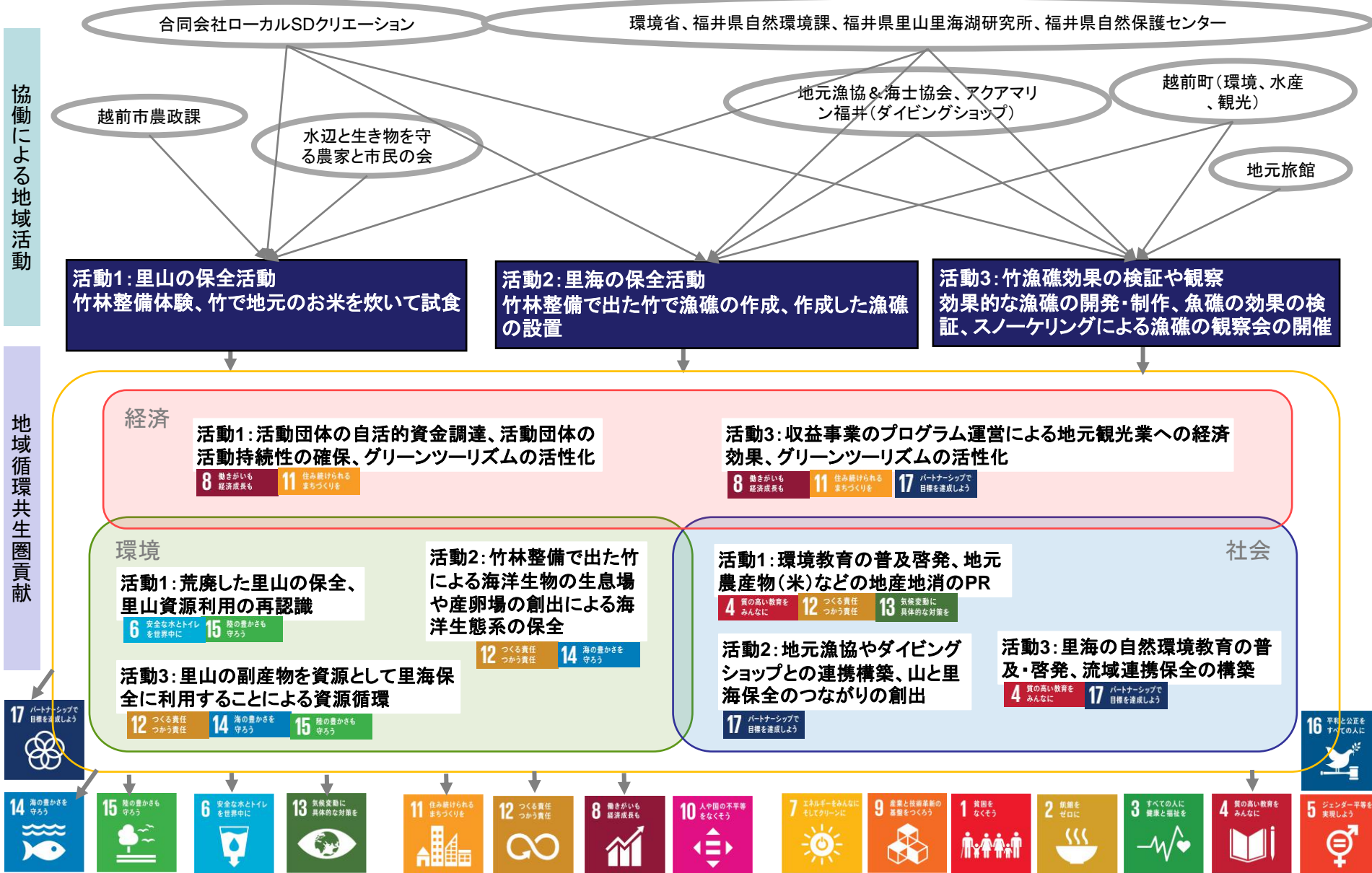
里山の副産物を資源として里海保全に利用することによる資源循環	里海の自然環境教育の普及・啓発 流域連携保全の構築	収益事業のプログラム運営による地元観光業への経済効果 グリーンツーリズムの活性化
--------------------------------	------------------------------	---

SDGsへの貢献 (該当すれば●、もしくは貢献とその内容を直接記入)			
1 貧困をなくそう			
2 飢餓をゼロに			
3 すべての人に健康と福祉を			
4 質の高い教育をみんなに		●	
5 ジェンダー平等を実現しよう			
6 安全な水とトイレを世界中に			
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
8 働きがいも経済成長も			●
9 産業と技術革新の基盤をつくろう			
10 人や国の不平等をなくそう			
11 住み続けられるまちづくりを			●
12 つくる責任つかう責任	●		
13 気候変動に具体的な対策を			
14 海の豊かさを守ろう	●		
15 陸の豊かさを守ろう	●		
16 平和と公正をすべての人に			
17 パートナースhipで目標を達成しよう		●	●

近年課題となっている里山や里海の荒廃を防ぐため、山間部の里山整備により搬出された木材を中心とした副産物を漁礁として活用することで、里山と里海をつなげた広域にわたる流域保全の構築を行う事を目的とし、里山と里海の活動を一連の自然環境体験プログラム商品として収益化することで観光産業の活性化を目指す。

協働による地域活動

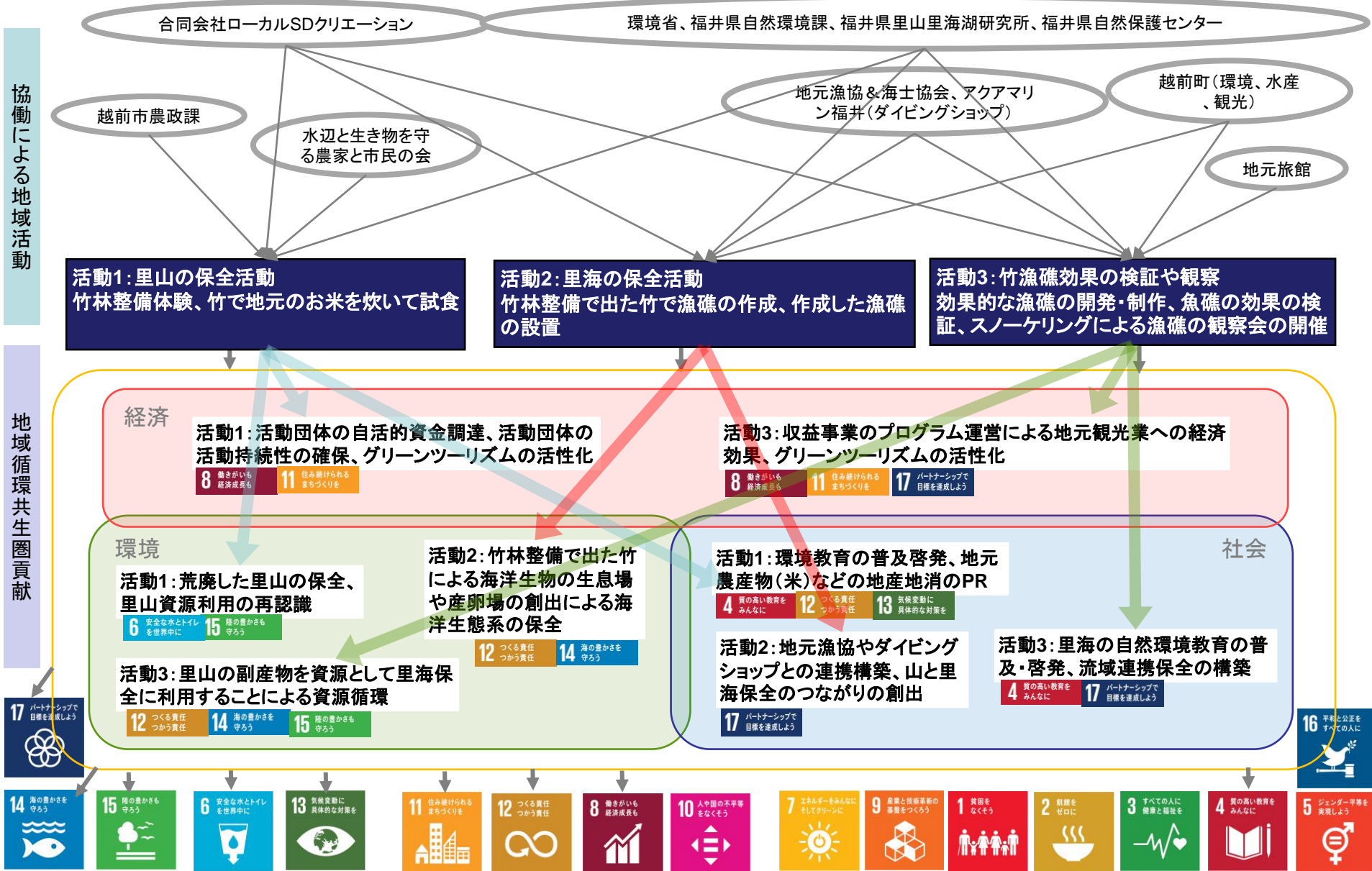
地域循環共生圏貢献



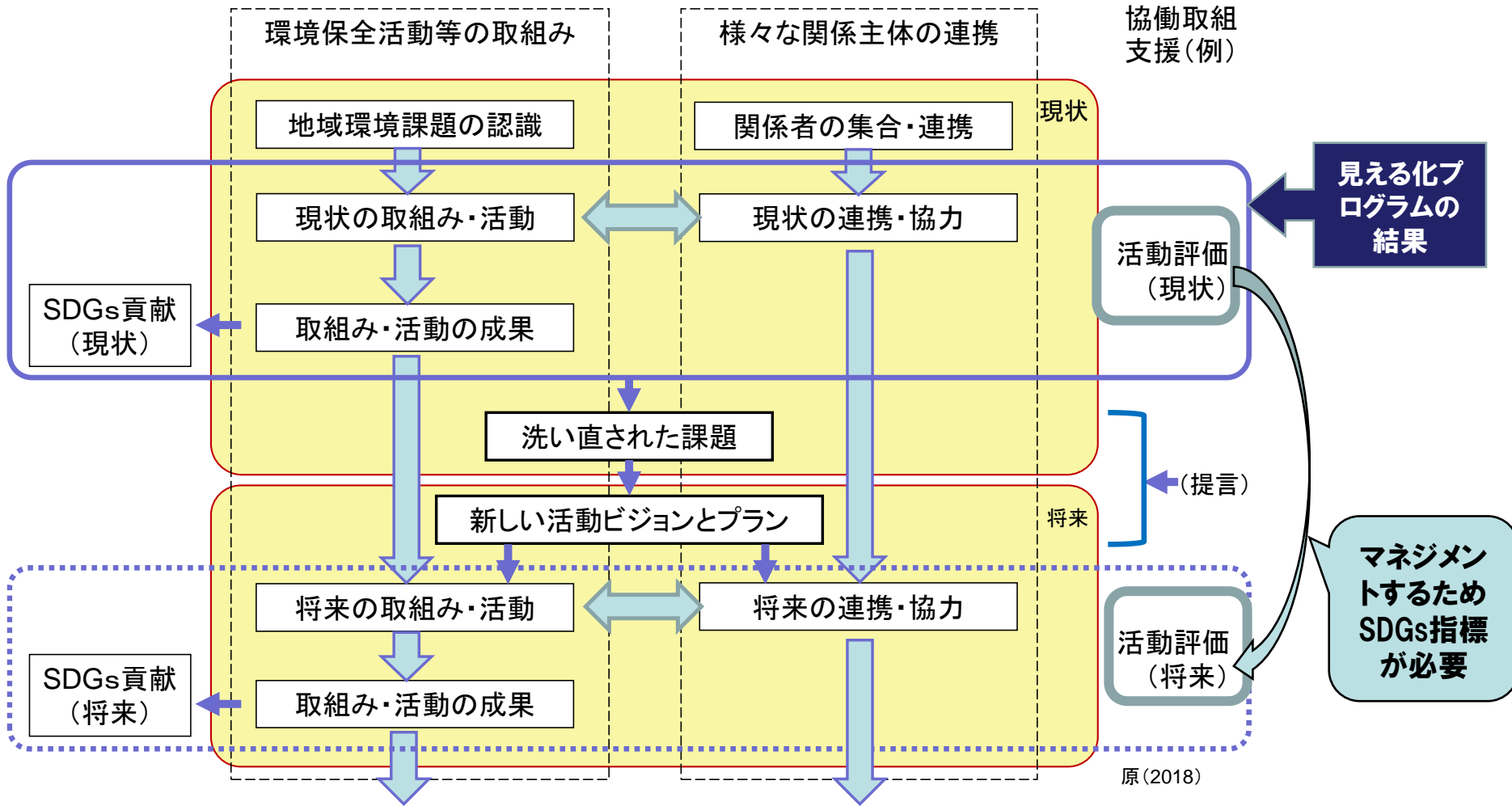
近年課題となっている里山や里海の荒廃を防ぐため、山間部の里山整備により搬出された木材を中心とした副産物を漁礁として活用することで、里山と里海をつなげた広域にわたる流域保全の構築を行う事を目的とし、里山と里海の活動を一連の自然環境体験プログラム商品として収益化することで観光産業の活性化を目指す。

協働による地域活動

地域循環共生圏貢献



分析結果の位置づけ



まずは「SDGsチェックリスト」でチェック！

SDGsチェックリストとは、中部地方ESD活動支援センターが作成した、事業や活動を17のゴールに関連付ける、気づきのためのチェックリスト型ツールです。

SDGsチェックリスト(基本段階版) ver.1.20

SDGs目標との関連関係チェック!

事業の名称	すでにやっている活動内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1. 社会の一員として、すでにやっていることを、振り返ってみる。すでにやっている活動内容を記入し、関連しているSDGs目標には、足を引っ張っているSDGs目標に△をつける。																			
2. 社会の一員として、すでにやっていることを、振り返ってみる。すでにやっている活動内容を記入し、関連しているSDGs目標には、足を引っ張っているSDGs目標に△をつける。																			

EPO 中部 / 中部地方 ESD 活動支援センター 拠点
SDGs 17 ゴール・ワーキング用シート

テーマ:

内容(取組など)

17のSDGsアイコンが並べられており、中央には記入欄があります。



事業や活動をリスト化してチェックし、SDGsとの関連を考えます

SDGsチェックリスト(基本段階版) ver.1.20

社会の一員として、すでにやっていることを、振り返ってみる。すでにやっている活動内容を記入し、関連しているSDGs目標には、足を引っ張っているSDGs目標に△をつける。

事業の名称	すでにやっている活動内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1. 社会の一員として、すでにやっていることを、振り返ってみる。すでにやっている活動内容を記入し、関連しているSDGs目標には、足を引っ張っているSDGs目標に△をつける。																		
2. 社会の一員として、すでにやっていることを、振り返ってみる。すでにやっている活動内容を記入し、関連しているSDGs目標には、足を引っ張っているSDGs目標に△をつける。																		
3. 社会の一員として、すでにやっていることを、振り返ってみる。すでにやっている活動内容を記入し、関連しているSDGs目標には、足を引っ張っているSDGs目標に△をつける。																		
4. 社会の一員として、すでにやっていることを、振り返ってみる。すでにやっている活動内容を記入し、関連しているSDGs目標には、足を引っ張っているSDGs目標に△をつける。																		

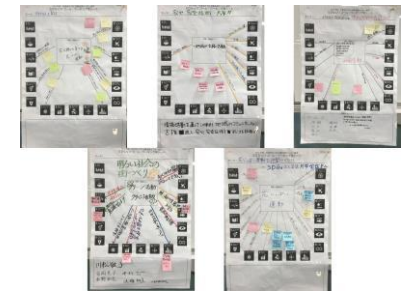
事業や活動を分類して記入する

自分の考えでチェックしてみる
どのように関連しているか考える

貢献しているSDGs目標には○を、足を引っ張っているSDGs目標には△をつける

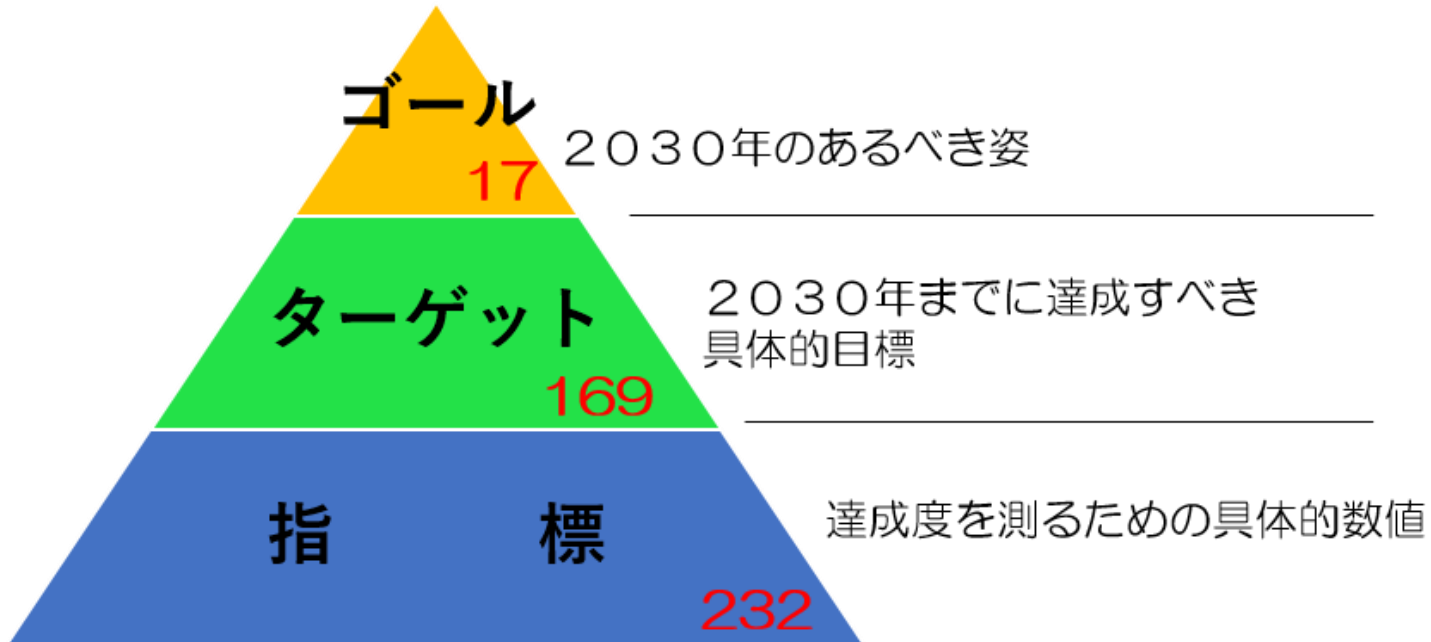



SDGsチェックリストとは、中部地方ESD活動支援センター（EPO中部内）が作成した、事業や活動を17のゴールに関連付ける、気づきのためのチェックリスト型ツールです。関連ツール一式を公開しておりますので、自由にダウンロードして、研修・ワークショップ等でご活用いただけます。



マネジメントのために SDGsの取組と指標

SDGsとグローバル指標

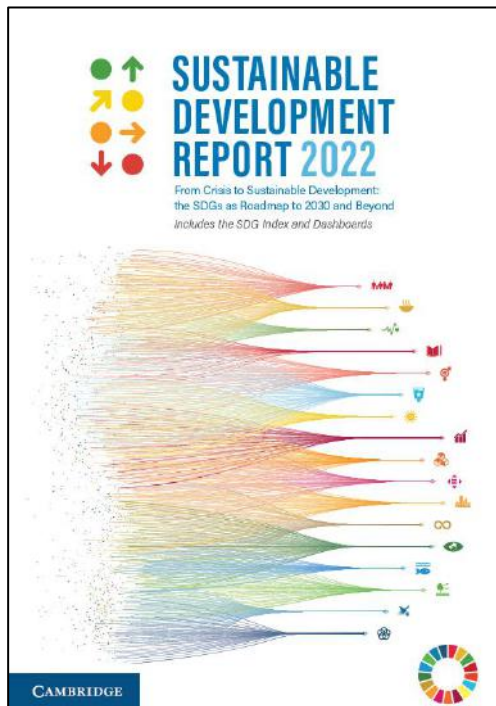


<p>ゴール4</p> 	<p>世界中のすべての人々が、質の高い教育を受けることができる状況にある。</p>	<p>2030年の あるべき姿</p>
<p>ターゲット4.1</p>	<p>2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ有効な学習成果をもたらす、自由かつ公平で質の高い初等教育および中等教育を修了できるようにする。</p>	<p>具体的目標</p>
<p>指標4.1.1</p>	<p>(i)読解力、(ii)算数について、最低限の習熟度に達している次の子供や若者の割合(性別ごと) (a) 2～3学年時、(b)小学校修了時、(c)中学校修了時</p>	<p>達成度を測る 指標</p>

SDGsの国際評価の例

Bertelsmann Stiftungらによる報告

国際的に収集できるSDGsグローバル指標に加えて国際統計などからSDGパフォーマンスを表す指標を選択し標準化等の統計処理を行った上でゴールごとに統合



JAPAN

OECD Countries

OVERALL PERFORMANCE

COUNTRY RANKING

JAPAN

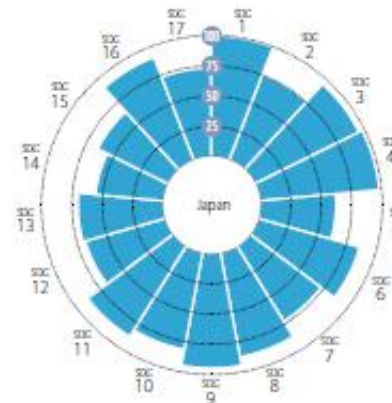
19 / 163

COUNTRY SCORE



REGIONAL AVERAGE: 77.2

AVERAGE PERFORMANCE BY SDG



SDG DASHBOARDS AND TRENDS



■ Major challenges
 ■ Significant challenges
 ■ Challenges remain
 ■ SDG achieved
 ■ Information unavailable
↓ Decreasing
 → Stagnating
 ↗ Moderately improving
 ↑ On track or maintaining SDG achievement
 ● Information unavailable

Note: The full title of each SDG is available here: <https://sustainabledevelopment.un.org/topics/sustainabledevelopmentgoals>

ローカルSDGs指標の例(トップダウン型)

Kawakuboら(2020)1)

情報共有のためのローカルSDGsプラットフォームの構築において、我が国の自治体レベルで可視化したローカルSDGs指標を組み込んだ実績を報告

ローカルSDGsプラットフォーム2)

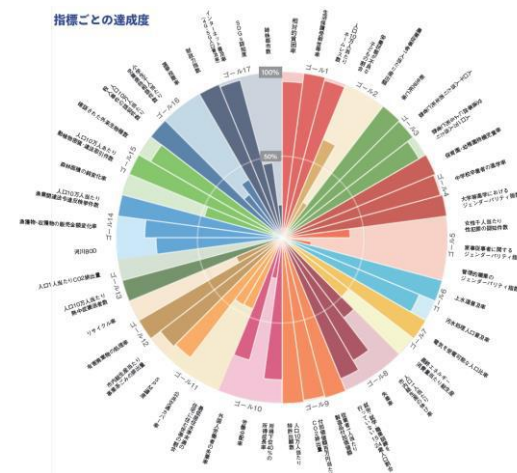
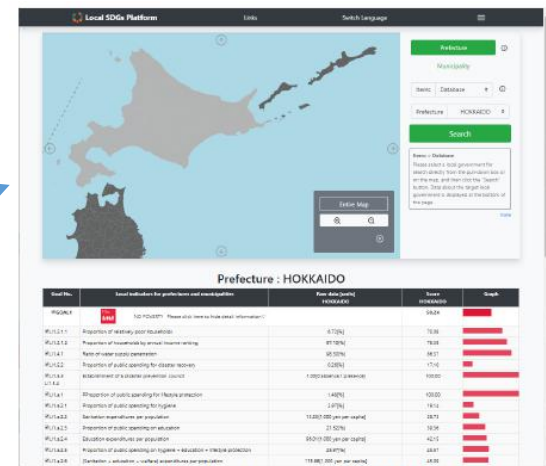
自治体レベルで可視化したローカルSDGs指標を組み込んだ実績を報告している。これらは都道府県、基礎自治体レベルの指標としてWeb上で公開されている

地方創生SDGs ローカル指標リスト(2019年8月版)3)

グローバル指標から自治体で活用可能な統計データの所在が示されている

自治体SDGsモニタリングの手引きPart A
地域のSDGs達成度評価(2021年5月)4)

日本の地方自治体がSDGsを持続的に推進するために必要不可欠な各種モニタリングのための評価指標、評価方法、事例を提供することを目的とし、取り組みの効果測定を適切に実施するためにローカライズした「SDGs達成度評価」を提案、その分析結果として名古屋市と豊田市の事例を紹介。



1) Shun Kawakubo and Shuzo Murakami (2020): Development of the Local SDGs Platform for information sharing to contribute to achieving the SDGs, IOP Conf. Ser. Earth Environ. Sci., 588, 022019.

2) ローカルSDGsプラットフォーム, https://local-sdgs.jp/app/database_sdgs.php?lang=ja,

3) 内閣府: 地方創生SDGsローカル指標リスト 2019年8月版(第一版),

2019, https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/kaigi/sonota/sdgs_shihyou_risuto_1.pdf

4) <https://csdgsfp.files.wordpress.com/2021/06/e887aae6b2bbe4bd93sdgse383a2e3838be382bfe383aae383b3e382b0e6898be5bc95e3818defbc88part-aefbc89-2.pdf>

ローカルSDGs指標の例(ボトムアップ型)

全国データ SDGsと日本ー誰も取り残されな
いたための人間の安全保障指標(2019) 7)
NPO法人「人間の安全保障」フォーラム
人間安全保障を重視しつつ, SDGsのゴールを基に
した都道府県別の指標を検討, 公開している。



出典: NPO法人「人間の安全保障」フォーラム, 高須幸雄: 全国データ SDGsと日本ー誰も取り残されないための人間の安全保障指標, 株式会社明石書店

黒部市社会福祉協議会
第3次黒部市地域福祉活動計画



- ・独自のゴールを市民参加ワークショップで策定
- ・ゴールのために必要な指標について検討

その他指標についての検討

- ・社会福祉法人座間市社会福祉協議会
- ・しずおかSDGsネットワーク、静岡市番町市民活動センタウェブサイト

出典: 一般財団法人CSOネットワーク
「コミュニティ指標を活用した参加型の地域づくり」とは
<https://www.csonj.org/activity2/organic/cgp-cic>

SDGs指標物語の提案の目的

第5次環境基本計画

環境・経済・社会が統合的に向上する
「地域循環共生圏」

地域でのSDGs実践＝「ローカルSDGs」



取組を進めるためにはSDGsへの貢献ある
いは影響についての評価指標が重要



ローカルSDGs指標作成の多くはトップダウンで考える
ボトムアップ型の指標作成もあるがSDGsとの関連性がわかりにくい



地域活動の評価指標とSDGsのグローバル指標との乖離を埋めるために、
ボトムアップ的に指標のSDGsとの関係性を示すための枠組みである「SDGs
指標物語」を提案

SDGsの枠組み

17ゴール

169ターゲット

232グローバル指標

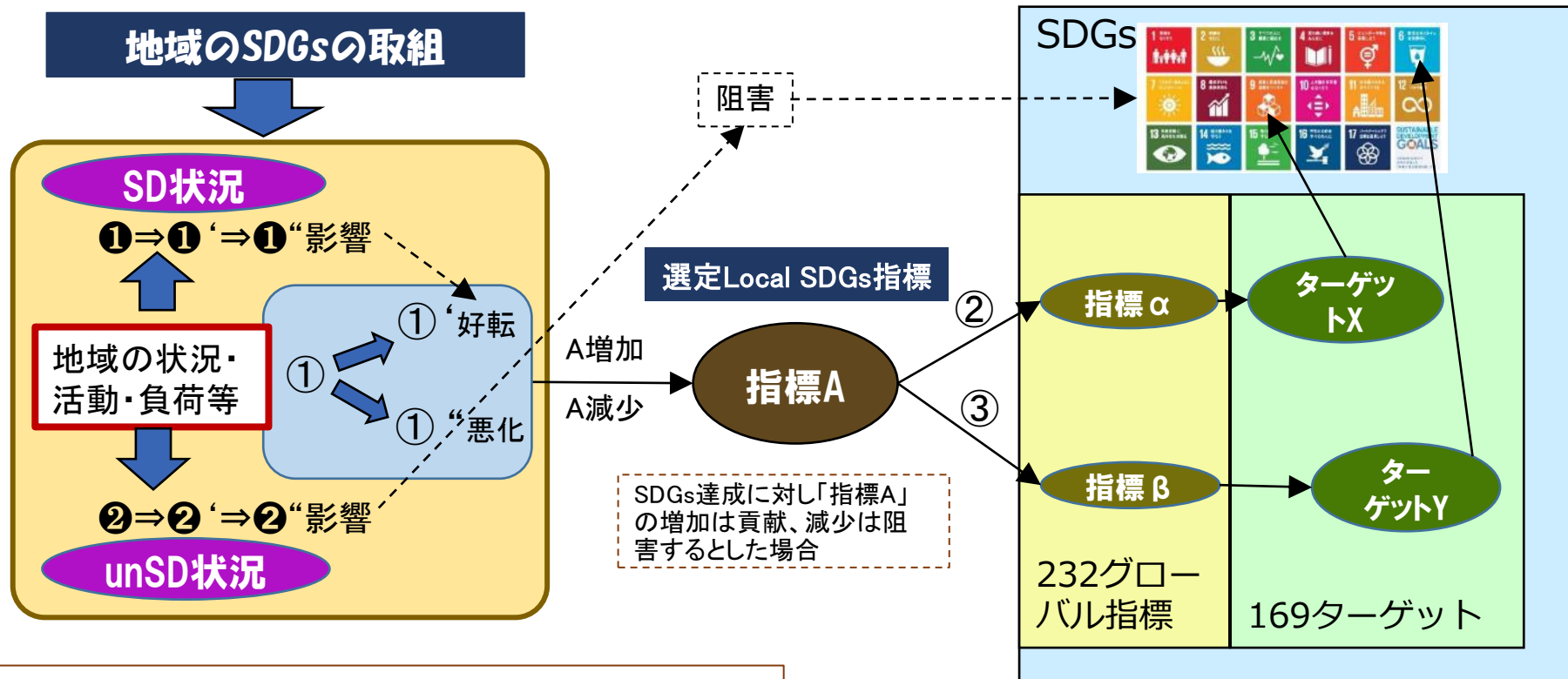


必ずしも地域レベルでその
まま活用できるものではない



SDGs指標物語

目的: 地域活動の評価のために選定したローカルSDGs指標が地域の何を表しSDGsについてどのような関連を持っているかを明確に示す



「地域の取組」と「指標A」のSDGs指標物語(例)

指標AはゴールNo.○、○、○の達成に寄与するLocal SDGs指標として選定した。Aは①の貢献度を表す。指標Aが増加するとグローバル指標αと指標βに②、③から影響しターゲットXとターゲットYの達成に貢献する。指標Aの増加のための地域のSDGs取組は、①という持続可能性に貢献するSD状況が発生し、①'の影響により①"につながる。一方②の持続可能性を阻害するunSD状況が発生する可能性が考えられ、②'の影響により②"につながり、ゴールNo.○について阻害が起こる可能性があるため、そうならない取組が必要となる。

対象事例の地域活動内容と選定指標

里山整備副産物を利用した 海洋資源保全に関するコンソーシアムの構築に向けて
合同会社ローカルSDクリエーション

近年課題となっている里山や里海の荒廃を防ぐため、山間部の里山整備により搬出された木材を中心とした副産物を漁礁として活用することで、里山と里海をつなげた広域にわたる流域保全の構築を行う事を目的とし、里山と里海の活動を一連の自然環境体験プログラム商品として収益化することで観光産業の活性化を目指す。

活動No.	活動1	活動2	活動3
名称	里山の保全活動	里海の保全活動	竹漁礁効果検証や観察会など体験プログラム化
対象課題	モウソウチク林の拡大による里山の荒廃	里海の水産資源の生息場の減少	竹の漁礁としての効果の検証 体験プログラムの開発
活動内容	竹林整備体験、竹で地元のお米を炊いて試食	竹林整備で出た竹で漁礁の作成、作成した漁礁の設置	効果的な漁礁の開発・制作、魚礁の効果の検証、スノーケリングによる漁礁の観察会の開催
予想活動成果	荒廃した竹林の環境向上、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識、収益プログラムとしての運用	海洋生物の生息場や産卵床の創出、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識	里山資源のワイズユース、水産資源の増加、流域連携保全の構築、収益事業としての運用、観光産業の活性化
指標	里山整備面積(平方m)	漁礁の設置数(箇所)	観察会等収益事業プログラム運用売上(円)

SDGs指標物語作成フォーマット

地域のSDGs取組	選定指標に対する地域の状況・活動・負荷等								選定指標と内容		SDGs体系														
	分野	SD状況	影響	好転内容	unSD状況	影響	悪化内容	阻害対象 ゴール・ ターゲット	分野	環境	項目	インデクス		ターゲット		ゴール									
里山の保全活動	環境	竹林の手入れ等里山整備面積の増加	放置竹林の減少	管理された里山の増加	必要なマンパワーの増加	人員確保の困難性	地域社会への人的負荷	ゴール11 住み続けられるまちづくりを	指標名(単位)	里山整備面積(平方m)	項目	6.6.1	水関連生態系範囲の経時変化	6.6	山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。	6	安全な水とトイレを世界中に								
																		SDGsに貢献する内容	水源機能や陸域生態系維持	関連性	土壌の含水率低下の緩和				
																		項目	15.1.1	土地全体に対する森林の割合	15.1	森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。	15	陸の豊かさを守ろう	
関連性	雑木林への竹林侵入の抑制																								

ローカルSDGs指標物語

活動1 里山の保全活動

貢献分野 環境

選定指標 里山整備面積(平方m)

Local SDGs指標の概説	里山整備面積(平方m)は「ゴール6安全な水とトイレを世界中に、15陸の豊かさを守ろう」の達成に寄与する地域活動を反映するLocal SDGs指標として選定した。里山整備面積(平方m)は地域の「水源機能や陸域生態系維持」への貢献度を表す。
SDGsへの関連性	里山整備面積(平方m)が増加すると、「土壌の含水率低下の緩和」から、【指標6.6.1水関連生態系範囲の経時変化】に影響があり、【ターゲット6.6山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。】の達成に貢献する。また、「雑木林への竹林侵入の抑制」から、【指標15.1.1土地全体に対する森林の割合】に影響があり、【ターゲット15.1森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。】の達成に貢献する。
地域の取組との関連性	里山整備面積(平方m)のために『里山の保全活動』を行えば、『竹林の手入れ等里山整備面積の増加』という持続可能性に貢献するSD状況が発生し、『放置竹林の減少』の影響により『管理された里山の増加』につながる。一方、「必要なマンパワーの増加」という持続可能性を阻害するunSD状況が発生する可能性が考えられ、「人員確保の困難性」の影響により「地域社会への人的負荷」につながることで、「ゴール11住み続けられるまちづくりを」に対する阻害要因となり得るため、対策が必要となる。

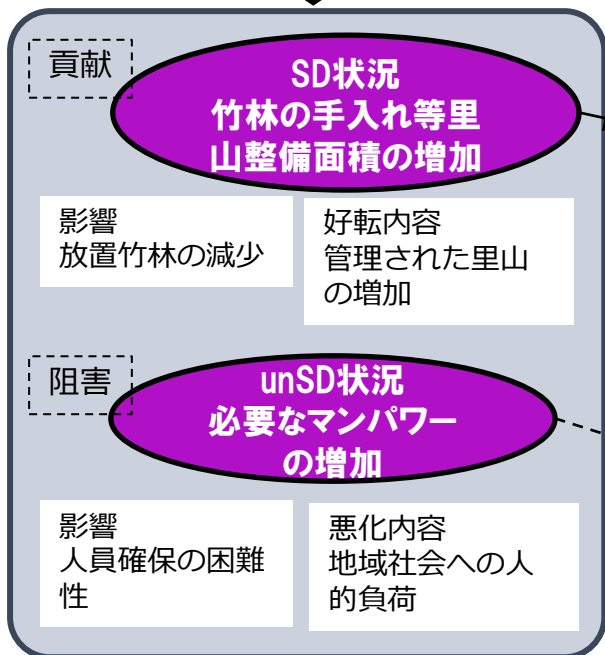
「活動1 里山の保全活動」の評価指標

Local SDGs指標の概説	<p>里山整備面積（平方m）は「ゴール6安全な水とトイレを世界中に、15陸の豊かさを守ろう」の達成に寄与する地域活動を反映するLocal SDGs指標として選定した。里山整備面積（平方m）は地域の「水源機能や陸域生態系維持」への貢献度を表す。</p>
SDGs への関連性	<p>里山整備面積（平方m）が増加すると、「土壌の含水率低下の緩和」から、【指標6.6.1水関連生態系範囲の経時変化】に影響があり、【ターゲット6.6 山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。】の達成に貢献する。また、「雑木林への竹林侵入の抑制」から、【指標15.1.1土地全体に対する森林の割合】に影響があり、【ターゲット15.1森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。】の達成に貢献する。</p>
地域の取組との関連性	<p>里山整備面積（平方m）のために『里山の保全活動』を行えば、『竹林の手入れ等里山整備面積の増加』という持続可能性に貢献するSD状況が発生し、『放置竹林の減少』の影響により『管理された里山の増加』につながる。一方、「必要なマンパワーの増加」という持続可能性を阻害するunSD状況が発生する可能性が考えられ、「人員確保の困難性」の影響により「地域社会への人的負荷」につながることで、「ゴール11 住み続けられるまちづくりを」に対する阻害要因となり得るため、対策が必要となる。</p>

SDGs指標物語チャート：里山整備面積（平方m）

地域のSDGsの取組 【里山の保全活動】

竹林整備体験、竹で地元のお米を炊いて試食



Local SDGs指標
**里山整備面積
 (平方m)**
 水源機能や陸域生態系維持



協力：中部大学 国際GISセンター 問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点

応用事例
基礎自治体指標データベースツールに
おけるSDGs指標物語の活用

基礎自治体指標データベースツール

教育やまちづくりの議論の場面で役立つよう、全国レベルで比較可能な統計値などの複数の指標を「SDGs指標物語」を作成しつつ選定し、「経済」、「社会」、「環境」の3分野から基礎自治体の状況を可視化するツールを作成

- 数が過大にならず目が行き届きやすい範囲で全体を表現することに留意、SDGs分野全体を少ない指標でカバーするため複数のゴールやターゲットに関連する統計値を選定
- 「経済」、「社会」、「環境」の分野でそれぞれ4～5項目程度の指標を選定(分野が重複している指標も許容)
- 「誰でも・簡単に」作れ、使える(容易性)とともに、根拠がはっきりしており(信頼性)、お金や手間がかからない(低コスト)の統計データが主な対象
- 「SDGs指標物語」を作成しSDGsとの関連性を確認しつつ、複数のゴールに貢献すると考えられる統計値を試行錯誤で選定

複合指標ではなくダッシュボードアプローチ

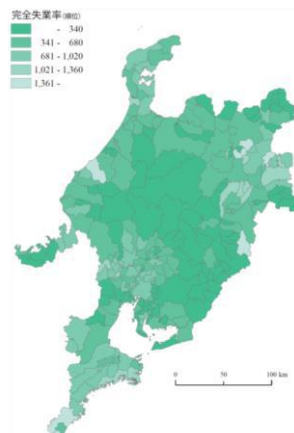
SDGs状況を示す基礎自治体の指標の例, 初期設定型(社会、環境、経済)

基礎自治体統計指標	「SDGs指標物語」の骨子 何を示していると考えたか	SDGs
完全失業率(単位:%)	その自治体の貧困層, 潜在的貧困層の度合い	1. 貧困をなくそう 4. 質の高い教育をみんなに 8. 働きがいも経済成長も 10. 人や国の不平等をなくそう
女性平均寿命(単位:才)	その自治体の女性の生活のしやすさ	1. 貧困をなくそう 3. すべての人に健康と福祉を 5. ジェンダー平等を実現しよう
生徒一人当たり 教育予算(小中学校)(単位:千円)	その自治体の教育の充実性	4. 質の高い教育をみんなに
人口(1000人)あたり交通事故件数(単位:件)	その自治体の自動車交通の危険性と自動車を使用しない生活のしやすさ	3. すべての人に健康と福祉を 11. 住み続けられるまちづくりを
投票率(単位:%)	その自治体政策の住民の参加度と関心度	16. 平和と公正をすべての人に
人口(1000人)あたり作付け面積(単位:ha)	その自治体の食料自給力	2. 飢餓をゼロに
再エネ発電量(単位:kWh)	その自治体の再生可能エネルギーに対する取り組み	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13. 気候変動に具体的な対策を
森林面積割合(単位:%)	その自治体の森林面積(陸上生態系)	15. 陸の豊かさを守ろう
河川水質(単位:mg/L)	その自治体の水の綺麗さ	6. 安全な水とトイレを世界中に 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさを守ろう
人口あたりCO2排出量(単位:1000t CO2)	その自治体住民のCO2に対する配慮	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13. 気候変動に具体的な対策を
総生産量あたりCO2排出量(単位:1000t CO2)	その自治体全体のCO2に対する配慮	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 13. 気候変動に具体的な対策を
人口あたり廃棄物量(単位:t)	その自治体の資源循環に対する配慮	12. つくる責任つかう責任
人口あたり域内総生産(単位:百万円)	その自治体の生産力	8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
納税者あたり総所得(単位:百万円)	その自治体の納税者の裕福度(どれぐらいかせいでいるか)	10. 人や国の不平等をなくそう
人口あたり域内総所得(単位:百万円)	その自治体の裕福度(どれくらいお金を使う余裕があるか)	1. 貧困をなくそう

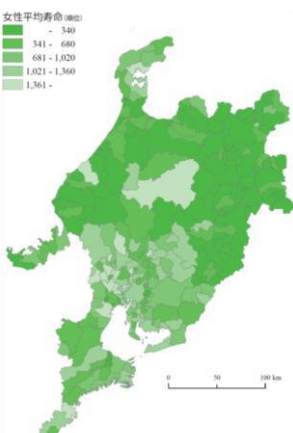
SDGs自治体 データ中部地 方デジタル マップ

順位マップ

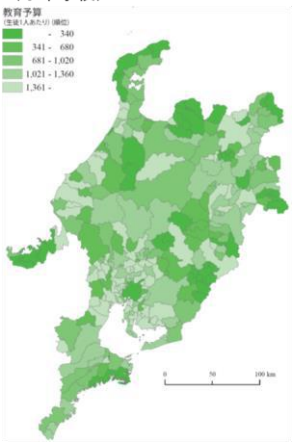
1. 完全失業率



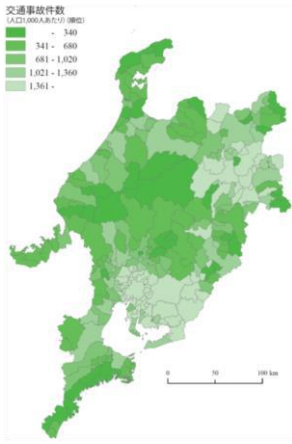
2. 女性平均寿命



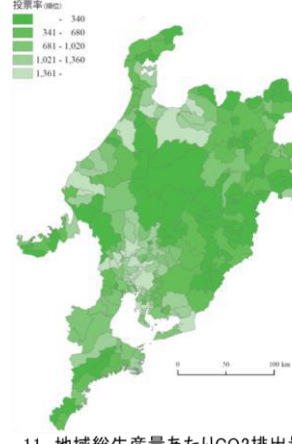
3. 生徒一人あたり教育予算
(小中学校)



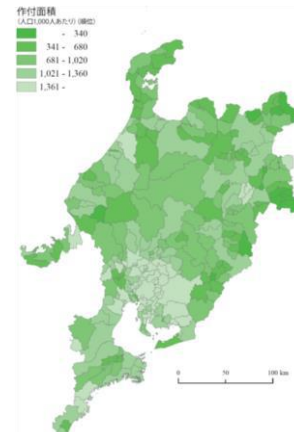
4. 人口当たり交通事故件数



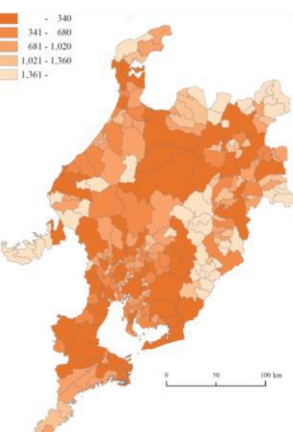
5. 投票率



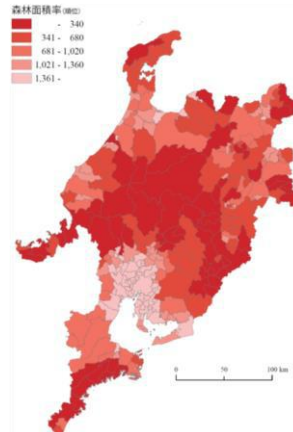
6. 人口当たり農業作付面積



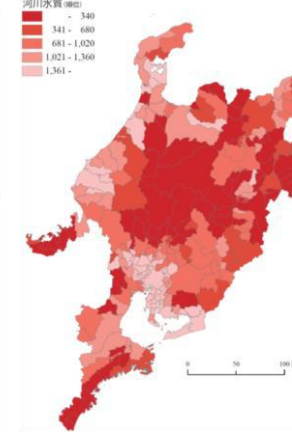
7. 域内総生産あたり再エネ発電量



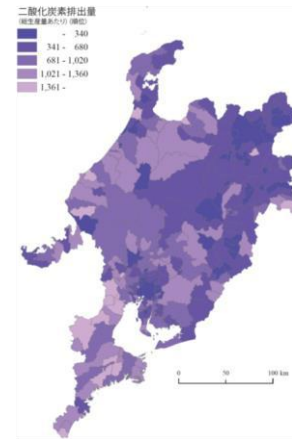
8. 森林面積割合



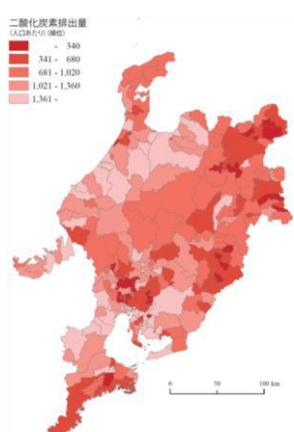
9. 河川水質BOD平均値



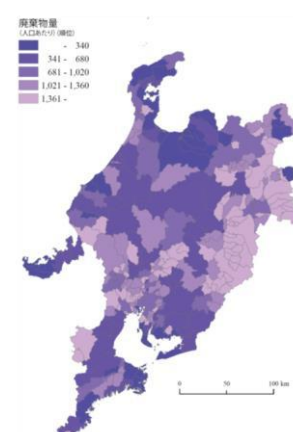
11. 地域総生産量あたりCO2排出量



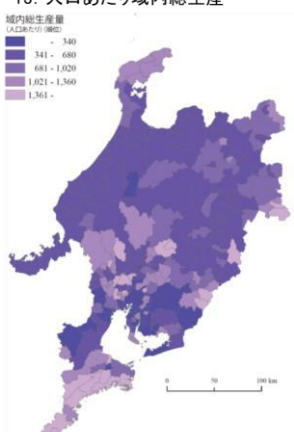
10. 人口当たりCO2排出量



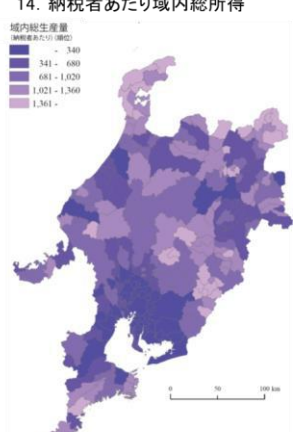
12. 人口あたり廃棄物量



13. 人口あたり域内総生産



14. 納税者あたり域内総所得



15. 人口あたり域内総所得

